Market Letter 情報提供資料

ブラジル大統領選は予想外にルラ現大統領が勝利

目先はトリプル安に警戒

2026年10月26日

財政健全化の姿勢が示されれば、市場は落ち着きを取り戻す展開に

ブラジルでは10月25日（現地、以下同様）に大統領選挙の決選投票が実施され、選挙管理当局がルラ現大統領の当選を発表しました。開票率100.0%時点の得票率は、左派のルラ氏が51.79%、右派のフラビオ・ボルソナロ氏が48.21%です。10月4日に実施された第1回投票では、ボルソナロ氏が47.03%、ルラ氏が45.16%の票を獲得し、また3位以下の候補者の多くがボルソナロ氏の支持を表明したため、決選投票はボルソナロ氏優勢とみられていました（10月24日時点で賭けサイトPolymarketによるボルソナロ氏の当選確率は79.9%）。しかし、各種世論調査で指摘されていたボルソナロ氏に対する有権者の「拒否率」の高さが、同氏の票の伸び悩みにつながったと考えられます。

ブラジル金融市場では、ボルソナロ氏の当選を見込んで第1回投票後に株高、債券高（金利低下）、通貨高のトリプル高が進行していたため、ルラ氏の再選を受けて目先はトリプル安の反応が想定されます。ブラジル中央銀行は9月まで5会合連続で利下げを実施してきましたが、通貨安に起因するインフレ圧力を抑制するため、当面は政策金利を据え置くとみられます。通貨安圧力が収まらなければ利上げに転じる可能性も出てくるでしょう。ただし、前回の2022年大統領選挙後のように財政健全化の姿勢が示されれば、選挙通過による不透明感の後退（ボラティリティの低下）とともにブラジル・レアルは反発する展開が想定されるため、中期的にはルラ新政権の財政運営に注目が集まります。

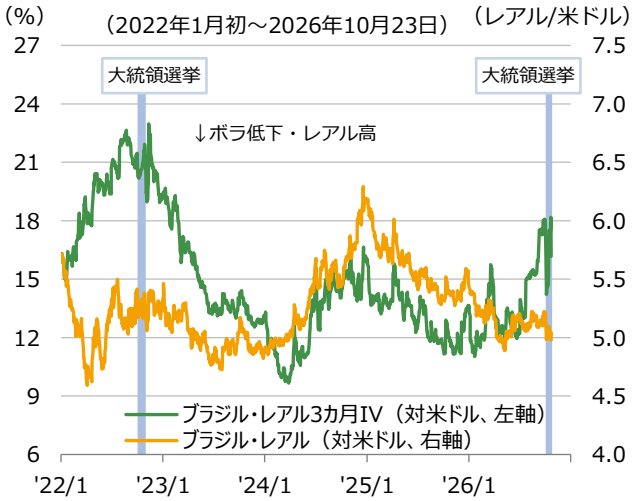
ブラジル大統領選挙の当選確率と金利



※当選確率は賭けサイトPolymarketに基づく
※国債利回りは2026年10月23日まで

（出所）Polymarket、ブルームバーグ

ブラジル・レアルの予想変動率と対米ドルレート



※IV：インプライド・ボラティリティ

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。